

(4) ねらい別プログラム例

「活動のねらい イ 人間的ふれあいと集団づくり」の場合

	午前(2時間)	午後(3時間)	夜(90分)
1 目 目	<b>信頼関係作りゲーム(活動グループ中心)(トライ1)</b> ① 今回の宿泊活動のねらいを実感する活動 ② グループごとに目標設定(協力・挑戦・認め合い) ③ 課題ごとに短時間で並び替えるアクティビティ ④ 課題のレベルを上げてのアクティビティ ⑤ 活動の振り返り(よさの洗い出しと実感)	<b>宇宙大作戦(活動グループ)(トライ2)</b> ① 信頼関係作りゲームでのよさを実感させ宇宙大作戦のねらいにつなげる。 ② グループ毎にスタート(協力・挑戦・認め合い) ③ 活動の振り返り(よさの洗い出しと実感) ↓ この部分がとても大切です。活動からの気づきや学びを整理し、次の活動へのパイプ的役割をします。	<b>キャンプファイアのスタンツ準備(スタンツのグループごとに)(トライ1)</b> ① この時間のねらいを実感する活動 ② スタンツの練習(創意工夫、認め合い) ③ 全体で行う活動(キャンドル文字)の準備と確認 ④ 今日の振り返りと明日への意欲の喚起
	午前(3時間) 午後(2時間)(残りの時間は夜の活動の補充に活用)		夜(90分)
2 目 目	<b>野外炊飯(活動グループ)(トライ3)</b> ① 前日のよさを実感させ野外炊飯のねらいにつなげる。 ② グループ毎にスタート(支え合い・思いやり) ③ 食事 ※火起こし体験(例) ・はずみ車付き火起こし器(40~60分) ・火打ち石(10~30分)		<b>キャンプファイア(トライ2・まとめ)</b> ① 2日間のまとめとしての活動への意識づけ ② キャンプファイアをスタート(信頼感を味わわせる) ③ キャンドルを一人一人がもち文字を浮かび上がらせる。 ④ 2日間の振り返り 火を見つめながら一人一人が実感できたことを話す。
	④ 後片付けこそねらいを意識させて。 ⑤ 活動の振り返り(よさの洗い出しと実感) ↓ ぜひ、じっくりと振り返りの時間を設定してください。次の活動や今後の生活に生かすために「体験からの学び」を実感させましょう。		
3 目 目	午前(3時間)	午後	夜
	<b>クラフト(ジョイントクラフト)</b> ① この宿泊活動の思い出として、記念になる木工クラフトを作成する。 ② できあがったものは、身近なところに飾る。 (実感したことの継続化)	① 退所 ② 後日、各団体の通常の活動に戻ったら、文章に書き表す。今回の宿泊活動で、最も印象に残った、ことを文章に書き表す。 (実感したことの継続化)	